

(5) 東日本大震災外国人住民支援活動シンポジウム

福島市で開催された(財)自治体国際化協会主催のシンポジウムにおいて、パネラーを派遣するとともに2日目の現地視察のコーディネートを行った。

- ・実施日:平成23年11月22日(火)~11月23日(水・祝)
- ・参加者:全国の行政及び国際交流協会等職員
1日目約100名/2日目約40名



7 活用した助成金等

(1) (財)自治体国際化協会の各種震災枠助成金(計1,733,954円)

- ①災害時外国人住民支援活動助成金
 - ・『外国語による地震情報センター』の開設に伴うサポーター活動経費として478,000円
 - ・携帯ラジオ配布事業の配布送料、テプラシール代等として55,954円
- ②地域国際化施策支援特別対策事業(東日本震災枠)
 - ・多言語による東日本大震災復興版ジャイロ「がんばろう福島」の発行に伴う印刷費、送料等として400,000円
 - ・放射線に関わる健康管理セミナーに伴う通訳者翻訳者謝金、講演録印刷費及び送料等として800,000円

(2) 支援品等のコーディネート

- ①メッセージと小物(1箱)
文部科学省からの依頼により、台湾の中学校から贈られてきた見舞い品を、福島市立立子山小学校に寄贈した。
- ②ペットボトルの水、レトルトごはん、韓国のみ(500セット)

在日本大韓国民団福島県地方本部からの依頼により、福島市国際交流協会を通じて、福島市に寄贈した。

③靴下(100足)

当協会賛助会員からの依頼により、元伊達市在住スコットランド人の知人から贈られてきた靴下を、福島市立福島第一小学校に寄贈した。

④ペットボトルの水(22万本)

新潟総領事館からの依頼により、香港のラジオ放送会社より贈られた水を、福島市に10万本、日本労働組合総連合会福島県連合会に6万本、その他在住同胞に6万本寄贈した。

⑤手動式携帯ラジオ(1,400台)

多言語センターFACILを通じてNPO法人Oxformより寄贈されたラジオを、日本語教室や大学等を通じて県内在住外国人に配布した。

⑥Tシャツ(約50枚)

アメリカの大学の日本人教員の依頼により、南相馬市国際交流協会を通じて仮設住宅の方々に配布した。

⑦チョコレート菓子(400箱)

在日本大韓国民団福島県地方本部からの依頼により、福島県私立幼稚園協会を通じて浜通りの幼稚園に配布した。

8 関係機関(者)からの聞き取りの実施

発災当時、外国出身住民がどのようにして情報を収集したか調査するため、関係機

関(者)への聞き取りを実施した。その結果は、以下のとおりである。